

2026/27 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報

持続可能な
インパクトを
生み出そう

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粋

第2815回例会 2026年9月17日（木）

● 司会進行

S AA/ 石井会員・中山会員

会報担当/ 川島事務局

● 点 鐘 角谷 会長

● ソ ン グ 手に手つないで

● お客様 時田パストガバナー・前地区福幹事長宮寺様

● 会長挨拶 角谷太一会長



みなさん、こんにちは。本日のお客様は RID2790

本年度 副ガバナー時田 清次様、そして 2025-26 年度地区副幹事長 宮寺 仁様、

市原ロータリークラブの例会によるこそお越し戴きました。後ほどご挨拶を戴きたいと

思いますので宜しくお願い致します。本日午前中に星幹事と一緒に市役所に行き先日理事会で可決し

皆様にもご報告いたしました8月の千葉豪雨に対する市原市への義援金を市長に届けて参りました。

市原市でも被害の大きかった地域があり復興支援をする中で来週の台風接近による大雨が心配される
こと、そして市原ロータリーの会員みなさんに日ごろから大変お世話になっており、

ありがとうございます、と感謝のお言葉を戴きました。来週のシルバーウィーク今年は並びが良く国民の
休日もあわせて土曜日含め5連休という方も多いと思いますが、あいにくの天候となりそうで残念です。

先日事務局の川島さんから皆さんにロータリーの友についてというメールが配信されたと思います。

こちらは電子版のロータリーの友の閲覧に必要な ID,パスワードが毎年配信されるもので ID はずっと
変わりませんがパスワードは会員限定ということもあってなのか毎年変更されます。

初期の頃の友誌は70ページから90ページ近くあり広告等も載っていました。当時はインターネットも
なく世界はもとより国内の情報収集も今とは比べ物にならないくらい大変だったと思います。

そんな過去の友誌を見ていくと1964年8月号に仮クラブとして市原ロータリークラブが6月13日
発会と紹介され翌9月号に新クラブとして6月22日承認と紹介されていました。

時間がなくまだまだ読み切れておりませんが過去の友を読んでみるのも楽しいかもしれません。

本日のメインプログラムはロータリーの友月間にちなみまして前年度地区のロータリーの友委員西村会
員による卓話です。昨年の宮武会長は会長挨拶の中で何度か友の記事紹介をされていましたしその前の
上野会長も会長挨拶の中で友のアーカイブから白鳥パストガバナー年度の記事などを取り上げたりして
いました。ロータリーの友の購読はロータリアンの義務となっておりますがぜひ義務感からでなく友誌
を楽しんでいただけたらと思います。

● 幹事報告 星マリコ幹事



10月15日は市原中央との合同例会とゴルフになっております。又11月11日第4Gゴルフクラブ対抗戦となっておりますので、参加希望の方は事務局までご連絡お願い致します。

10月25日地区ポリオデー勝浦にて開催致します。

11月に第3第4Gラーニングセミナーの開催もあります。ご案内をお送りしますので、多数のご参加お願い致します。

● 本日司会進行
石井会員・中山会員



● 例会場 淡粧

美味しい料理ご馳走様です。



● お客様
時田副ガバナー



2025-26 年度地区副幹事長 宮寺様



昨年中は大変お世話になりました。市原RCの皆様にはご協力いただき感謝しております。お礼のスピーチ頂きました。

● 委員会報告 中西委員長



10/15 中央 RC との
合同コンペ組み合わせ
送りました。

11/11 第4G 合同
親睦ゴルフ大会参加者
募集中です。

● 長期計画委員会 宮武委員長



本日例会終了
後、淡粧1階
にて委員会
開催します。
よろしく
お願いします。

● 本日メインプログラム

ロータリーの友委員会西村会員より



『ロータリーの友』誌について

皆さん、こんにちは。

今日はですね、今9月の特別月間であります「友」誌についてです。昨年も行いましたが、おさらいの意味を込めて卓話をするようにと、本多会長エレクトより依頼されました。使用しますパワーポイントは、昨年同様のもので、ロータリーの友事務所が作成したものです。この「友」誌の購読の意義については、地区のラーニング委員会でも次の6項目をあげておられます。

ロータリー活動への理解推進 2.→広い視野の獲得

3.→世代間の交流促進 4.→新しいアイデアやインスピレーション

5.→自己成長への刺激 6.→クラブ活動の一体感と持続性

このことを念頭に置いて、お聞きいただければと思います。

まずは発刊の由来についてです。1921年米山梅吉氏らの尽力により、東京 RC が日本で初めて国際ロータリー (RI) に加盟認証されました。しかし、1940年に日本は第二次大戦により国際ロータリー (RI) を脱退しましたが、1949年に復帰しました。この復帰につきましては戦後すぐの事でもあり、国内外の事情から判断しましても大変な熱意や努力・使命感からの結果だと思われます。その後、1952年7月に日本のロータリーは2つの地区に分割されました。しかしながら、「お互いの地区のことを知り続けていたい」という想いから、翌年1月に、両地区を繋ぐ共通の雑誌として

『ロータリーの友』が創刊されました。それ以来、この『友』誌は、日本全国のロータリアンを繋ぐ大切な役割を担って来ております。そして、今年の1月には、創刊から73年を迎えました。

「ロータリーの友」は、1980年に RI から認可されている公式の機関雑誌です。

因みに、RI に認可されているロータリー雑誌は、世界で30種類以上あります。

これらの写真は、その表紙の一部です。皆さんにはご承知の方もおられると思いますが、標準クラブ定款に記載されておりますように、ロータリアンには RI が認めた機関雑誌を購読する義務があります。これは、1977年の規定審議会での決定ですが、3大義務の一つです。因みに後の2つは、会費の納入と例会への出席です。では、なぜ RI は機関誌の購読を義務付けているのでしょうか。その根本には、「ロータリーの理念や活動を、世界中の会員が理解し共有していこう」という考えがあるからです。毎年の RI 会長メッセージや月ごとのテーマ、世界中のクラブの活動などを、です。日本では、RI が出版している『ROTARY』誌（英語版）か日本語の『ロータリーの友』のどちらかを購読する決まりになっています。ロータリーの雑誌が RI の認可を受けるためには色々な要項がありますが、その中でも重要な6項目の決まりがあります。まず、RI から指定された記事は必ず掲載しなければなりません。例えば、RI 会長や財団委員長などのメッセージや国際大会についてなど、RI が発信した内容を掲載する事。次には、RI では、国際社会の変化等を鑑み、今後の方針や方向性についていろいろと議論されております。その重要な決議事項などについては掲載しなければなりません。

また、発行回数については、年に6回以上で、1号あたり24ページ以上の雑誌にする事。

そして、掲載記事については、50%以上をロータリーに関する内容にする事。

さらには、「印刷版」か「電子版」か、を選べるようにする事。そしてまた重要なことは、

RIの資金援助を受けずに自主運営が出来ることです。この運営について日本の現況は、と言いますと、会員の減少による発行部数の減少や昨今の物価高等による経費増も重なり、良好とは言えません。会員の増加と広告収入が必要です。『ロータリーの友』が、ロータリーの公式な雑誌として認められるためには先ほどにも申し上げましたが、RIが指定する記事を必ず掲載しなければなりません。

そして、私たちロータリアンは、その記事を読み、その情報を共有する必要があります。

これらの指定記事には、目印として「地球儀の中にRIと書かれたロゴマーク」が付いています。

これは、「世界中のロータリアンに必ず読んでください。」というサインです。是非、チェックして

下さい。RIは、画面にありますように、4月は「環境月間」そして5月は「青少年奉仕月間」などと毎月の特別月間を定め、その活動に参加するよう定めております。そして、今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。さらに、日本では独自の月間テーマとして、9月は「ロータリーの友月間」、

そして、10月は「米山月間」が設定されております。その月ごとの特集記事をクラブ運営の参考にいただければと思います。ここではロゴについて、です。RIでは、ここ数年「統一感あるブランドづくり」に取り組んでおります。そのため、ロータリークラブは勿論の事、ローターアクトクラブやインターアクトクラブにおいても、公式のロゴを正しく使いましょうと呼びかけています。

この掲載写真は、RIが定めた公式ロゴではありませんので、『ロータリーの友』誌には掲載できません。重宝されるような写真でも、ロゴの扱い一つで掲載できないのです。是非、ご注意いただければと思います。ロータリーの正しいロゴの使い方については、「ロータリーの友」誌9月号にも、

「これがロータリーブランドの象徴です」ということで詳細に掲載されております。また、RIのウェブサイト「マイロータリー」の中にあるブランドリソースセンターで確認できます。

そこでは、ガイドラインだけでなく、クラブ名入りのロゴを簡単に作れるフォーマットも用意されています。地域の皆さんにもロータリーを身近に感じてもらうためには、統一感あるブランドイメージを大切にしていかなければなりません。『ロータリーの友』を購読している方は、印刷版か電子版か、

どちらかを選んで読むことができます。印刷版の購読者は、電子版も無償で利用できます。

この電子版については、毎月1日に更新され、ご利用いただくにはクラブごとに発行されているID・パスワードでログインする必要があります。このパスワードは年に2回（7月15日と12月15日）更新されますので、ご注意ください。また、この電子版では、アーカイブが設営されておりますので、1953年の創刊号から現在までのバックナンバー全てが閲覧でき、検索機能もありますので有効活用していただければと思います。その他の条件としましては、ロータリーの雑誌の7月号には

RIから配信される新会長の写真を掲載するという決まりがあります。これは、機関雑誌としての統一感を保つために、現在も続いているルールです。今年度は、ナイジェリア出身のオラインカ・ハキーム・ババロラRI会長が表紙を飾っておられ、「CREATE LASTING IMPACT」（持続可能なインパクトを生み出そう）というメッセージを掲げられております。『ロータリーの友』の大きな特徴の

ひとつに、表紙が2つあるという点があります。この雑誌は、横組みと縦組みの両方で構成されているからです。創刊当初は全て横書きでした。ところが、俳句や短歌などのコーナーが始まり、横書きにするわけにもいかないものですから縦組みが導入されました。その後しばらくは横書きと縦書きが混在していたのですが、1972年1月号から分けて掲載するスタイルになりました。

現在では、横組みの方では、RI 関連の記事や特集、あるいは、理念や活動を理解できるような内容が中心になっています。一方、縦組みでは、時勢に適合した講演や卓話、会員からのエッセーや俳句・短歌など、あるいは会員同士の交流が深められるような記事などが掲載されています。

『友』誌には、いろいろなジャンルの記事が掲載されています。例えば、「あるある相談室」では私達ロータリアンが疑問に思うような事について2人の相談員（パストガバナー）がユーモアをまじえながら回答するコーナーがありますし、自由闊達な意見交換の場になるのでは、と思います。

なお、地区におきましては、昨年11月8日にラーニング三委員会が主催します「クラブ活性化セミナー」が開催されました。主な目的は、どのクラブにも起こっているのではと思われるような

「あるあるロータリー現象」を解消するには、についてです。どのクラブにも多様な会員がいます。私たちは、その互いの違いを尊重し認め合いながら、共にクラブを活性化していかなければなりません。

ここまでは、創刊から現在までの『友』誌について、概略の説明をさせて頂きました。

ここからは、皆様方には、『友』誌の読者の立場としてだけでなく、筆者の立場にもなっていたいただき、『友』誌に積極的に関与していただく内容（投稿）について触れていきます。日々、皆さん方はいろいろなロータリー活動等をされていることだと推察します。その活動等を『友』誌に投稿し、全国のロータリアンに発表しましょう。きっと、参考にいただけるはずです。

投稿につきましては、横組みと縦組みの中ほどに「ご投稿をお待ちしています！」という欄があります。そこには、コーナーごとの説明・文字数あるいは写真についてなどが詳細に記載されております。また、投稿につきましては、その下段に記載してある URL あるいは QR コードで投稿フォームを開きますと、クラブ名などの基本条項そして投稿する記事の内容などについて、項目別順に入力出来るようになっております。一度開いてみてください。入力については、左程難しくはないと思います。

因みに、前年度に当地区より投稿され掲載された記事の一部を紹介します。

「ロータリーアットワーク」は奉仕活動の紹介コーナーですが、10月号に、当クラブから投稿の

「ふるさとの自然を次世代へ『風呂の前里山保存会』との環境保存活動記録が掲載されました。

そして、「友愛の広場」コーナーは体験や思いを自由に綴るコーナーですが、8月号に稲葉会員

（千葉西 RC）の「遺品整理」、4月号に平山会員（成田 RC）の「ロータリーが変えた人生」が掲載されました。また、「内外よろず案内」コーナーは、催し物の案内などです。7月号に当地区での

「八犬伝プロジェクト」が掲載されました。なお、「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」コーナーには、毎月のように当地区から投稿され掲載されております。なお、投稿記事ではありませんが、編集部の依頼により、「NEW GENE RATION」コーナーの3月号に、市原中央高校 IAC 副部長の柴田和史君の「将来への思い等」が掲載されました。『ロータリーの友』誌は、学習する教材となり、また、思考や行動を鼓舞する雑誌へと進化していきます。ここからは投稿に際しての注意点について、です。

ここに記載されておりますように、掲載写真については、会員の活動中の内容が分かる写真で、記念撮影などは掲載できません。また、ロータリーのロゴが入っているときは、RI の公式のロゴかどうか確認してください。そうでない場合は、掲載できません。

ご投稿についてお願いします。全国の読者が目にしますので、原稿につきましてはクラブの説明と活動内容を分かりやすく、また、ポイントを絞って記載するのが肝要です。

そして、活動日はいつなのか、を記載してください。ご投稿は、活動後1か月以内が目安になっております。投稿についての注意点です。

記載されておりますように、活動後かなりの時間が経過したものや、式典のみの記事、あるいは文字数など、投稿規定に合っていないばあいなどは、ご投稿していただきましても掲載出来ません。

しかし、奉仕活動が伴っていれば大丈夫です。また、誹謗中傷やクラブ内での揉め事など、あるいは政治的・宗教的な内容は掲載出来ません。ここでは、法律的な面からの最重要注意点についてです。他人の写真や原稿については、著作権などで保護されています。当然のことですが、無断での使用は厳禁です。また、『ロータリーの友』誌に掲載された記事や写真についても同様です。著作権を守りながら情報を共有しましょう。以上で説明は終わりますが、私は、今年4月に各クラブ宛に『ロータリーの友』誌についてのアンケート調査をしました。結果は、クラブからの返答は4割弱でした。

また、クラブでの例会利用率、投稿、読書率も同様で、残念な結果でした。

このような現況下で、「友」事務所の方たちは、読書率を上げ、有効活用される『ロータリーの友』誌を目指し努力されておられます。皆様方におかれましては、「ロータリーの友」誌のご愛読・ご投稿とともに、実践していただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

● 新入会員卓話 佐藤浩之会員



大翔株式会社 代表取締役

2024年10月市原ロータリークラブ入会

お時間の関係で、次回再度卓話お願い致します。

● ニコニコ報告

時田副ガバナー・・・1年間ご協力いただきありがとうございました。

宮武会員・檜垣会員・・・時田パストガバナー・宮寺様本日はご来会誠にありがとうございます。

又、去年は一年間会長・幹事として大変お世話になりました。

今後ともよろしくお願いいたします。

角谷会長・星幹事・・・時田パストガバナー・宮寺様ご来会ありがとうございます。

西村会員為になる卓話ありがとうございました。

佐藤会員新入会員卓話途中でしたが、ありがとうございました。

又次回よろしくお願いいたします。

● 出席報告

本日出席者：42名 欠席者：46名 出席率：50.60%